

一部で最下位だった
社会人チーム

鈴木 川崎で開かれたアメリカカンフットボールのワールドカップでは阿部敏彰君が頑張ってくれたじゃないですか。

福地 阿部さんはW杯の監督であると同時に、アサヒビールシルバースターの監督でもありますからね。私も準備した阿部ジャパンの健闘を讃えているところですよ。

鈴木さんは若い頃から出場されたアメフトの試合が連戦連勝で、負けを知らない。『伝説の男』と言われていましたね。

鈴木 そのために家内からは「敗者の気持ちに分からない」なんて言われています(笑)。

福地 うちの名誉顧問の樋口廣太郎はシルバースターの育成に熱心で、日本アメリカンフットボール協会のコミッショナーまで務めました。それももともとは鈴木さんとの出会いがきっかけでしたからね。

鈴木 樋口さんは長年のお付き合いでしてね。樋口さんがシルバースターのサポートを始めた時には、いろいろと協力させていただきましたし、また子会社のアサヒ飲料がチャレ

ンジャーズを支援するようになってからは、スペシャルアドバイザーとしてチームの復活に一肌脱がせていただきました。

福地 私も鈴木さんにはお世話になっていますが、とりわけ親しくなったのは一九九九年、私が社長就任と同時にシルバースターの顧問になってからです。樋口からの要請でチームのお世話をすることになったのですが、何せ分からないことばかりなので、随分と助けていただきました。

もともと鈴木さんはビールの瓶詰め機械をドイツから輸入される会社の社長さんですから、スポーツというよりも会社ぐるみのお付き合いという感じですね。鈴木さんは技術、私は営業と歩いてきた畑は全然違うわけですが、私は鈴木さんがお住まいの大阪での勤務が長かったもので、仕事を離れてお酒を飲む機会もたくさんありましたね。

鈴木 僕も半分、アサヒビールの人間だと思っています(笑)。

福地 鈴木さんがチャレンジャーズのスペシャルアドバイザーになられたのは、確か私がシルバースターの顧問になった前年でしたね。

鈴木 これも樋口さんのお声掛けによるものでした。



勝者になるには普遍の原理がある。

そのことを実証したのがアメリカンフットボール界で伝説の男と呼ばれた鈴木智之氏である。かつて社会人アメリカンフットボールの西部地区一部リーグで常に最下位だったアサヒ飲料クラブチャレンジャーズ。その弱小チームが二年後に社会人王座に輝き、さらに二連覇達成の快挙を遂げた。チームの大改革をリードしたのが鈴木氏である。氏はチームの運命をどのように切りひらいたのか。

鈴木智之

アサヒ飲料クラブチャレンジャーズ元スペシャルアドバイザー
すずき ともゆき 昭和9年兵庫県生まれ。関西学院大学在学中、アメリカンフットボールの4年連続全国制覇に貢献。卒業後同社勤務を経て、38年に株式会社スズキインクスターショナルを設立。現在同社代表取締役社長。平成10年より13年までアサヒ飲料クラブチャレンジャーズ・スペシャルアドバイザーを務める。著書に『勝利者 一流主義が人を育てる 勝つためのマネジメント』(万葉舎刊)。

一流主義が

人を育てる

また企業やスポーツに共通する成功の要諦とは何か。長い低迷からスパーードライをヒットさせ、一躍飛龍のとき成長をみせたアサヒビールの相談役・福地茂雄氏とともに、その普遍の原理を探る。



福地茂雄

アサヒビール相談役
ふくち しげお 昭和9年福岡県生まれ。32年長崎大学経済学部卒業後、アサヒビール入社。京都支店長、営業部長、取締役大阪支店長、常務、専務、副社長を経て11年社長。14年会長。18年から相談役。企業メセナ協議会理事を務める。

対談 鈴木智之&福地茂雄